

鉄道駅間設備のIoT化による更なる運行の安定化と業務効率化への寄与

提案者名 東京急行電鉄株式会社

連絡先

東急電鉄 生活サービス事業部 事業推進部
ICT事業企画課 03-3477-9571

- 東急電鉄は、鉄道を中心とした街づくりを展開している。昨今のデジタルトランスフォーメーションにより、鉄道の安心・安全を支える技術を5Gにより更に高品質化し、駅を中心とした街づくりにおける安心・安全を支える技術にも広げていく
- 5Gにより老朽化した設備のメンテナンス向上、踏切監視システムの向上を行う

■背景（外部環境）

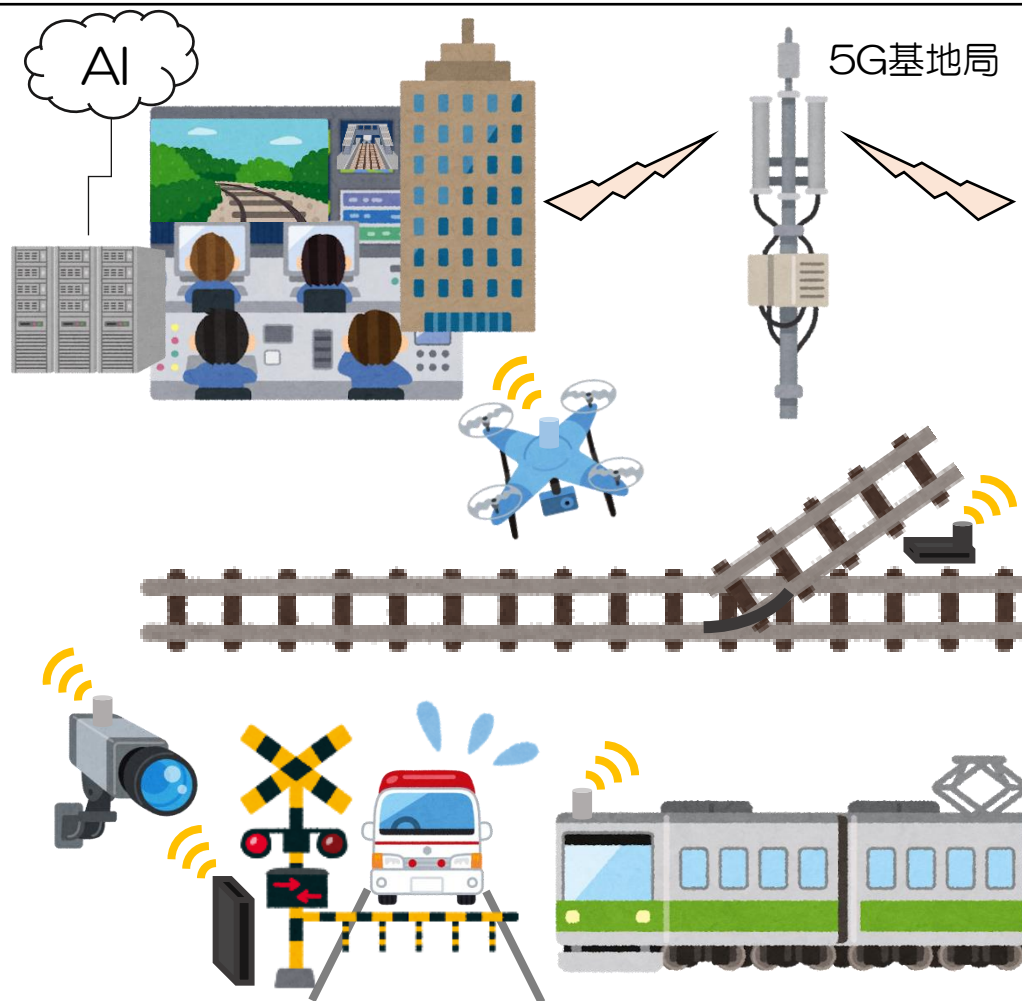
- 鉄道は公共交通機関であるため、運転見合わせの際の影響も大きく、運行を止めることは困難であり、見合わせた場合には、早期の復旧が求められる

■現状（内部環境）

- 鉄道設備は、駅を始め、駅間の線路脇などにも数多く設置されており、異常時・定期メンテナンスなどは、現地に駆けつけている
- 踏切内の侵入検知は行っているが、現状の仕様では、限界がある
- 参考：<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20181114-1.pdf>

■実施事項

- 踏切、踏切設置カメラ、転轍機などをネットワーク化し、設備監視を行い、業務効率を向上させる
- 異常発生時にドローンなどを現地に派遣し、現場の状況の把握スピードをあげる
- 踏切内をすべてデジタル情報化し、侵入検知の高度化をはかる



更なる安心・安全の強化につなげる